補助資料 18

令和８年度　学力向上を図るための全体計画

中 30 練馬区立大泉学園中学校

○地域保護者の願い
　健全育成　確かな学力
○目指す生徒像
(1)自ら学び、考え、判断し、表現できる生徒
(2)互いの個性を認め合い、心のこもった対応ができる生徒
(3)自らを高め、たくましく生きる力を身に付ける生徒

【学校の教育目標】

○自主　　すすんでおこなう

○誠実　　まごころこめてことにあたる

○努力　　たくましくやりぬく

○関係法規
　日本国憲法
　教育基本法
　学校教育法 等

○東京都教育目標
○練馬区教育目標
○管理運営規則 等

【学校経営計画の目指す学校像】

次のような学校像の実現に向けて「親切に、丁寧に、最後まで」を合言葉にチャレンジ性、先見性、行動力をもって学校経営を推進する。
(1)　生徒一人一人が自らのよさを発揮し、意欲的、創造的に活動する学校
(2)　自他を大切にし、心豊かな生徒を育てる学校
(3)　学校、家庭や地域との相互理解や協力体制を築き、地域から愛され、共に夢を育む学校
(4)　人権感覚を磨き、誰もが過ごしやすい学校
(5)　教職員一人一人が、自信と誇りをもち、何事にも前向きに取り組み、生徒と共に成長していく学校

各教科の指導の重点

○各教科
・基礎・基本の徹底
・主体的に学習に取り組む態度の育成
・個性や能力を生かす指導と評価の改善
・思考力、判断力、表現力の育成
・コミュニケーション能力の向上と言語活動の充実
・ＩＣＴ機器、タブレットＰＣの活用
・ｅライブラリの活用
・授業評価アンケートの活用

本校における「確かな学力」

本校では学習指導要領に示された基礎・基本の定着を重視し、次の力を育成する。

よりよく生き、学びを社会で生かす力
↑
思考力、判断力、表現力の育成
特に、根拠を基に説明できる力の育成
↑
課題解決的な学習、対話的・体験的な学習
観察・実験、調査・研究、発表・討論
↑
基礎・基本の徹底、補充的な学習
読み、書き、計算
↑
基本的な生活習慣、学ぶ目的の自覚

道徳教育の指導の重点

○全教育活動
・道徳的心情、判断力、実践意欲、態度の育成
・日常的な指導の重視
○特別の教科　道徳
・よりよい生き方の自覚
・考え、議論する道徳
・道徳性に係る成長の評価
○道徳授業地区公開講座
・地域との連携
・社会の一員としてのモラル

総合的な学習の時間の指導の重点

○自己の生き方を考える力
・上級学校に関する学び
・主体的な進路選択
・自己表現力の向上
・自主的・実践的な活動
・食育
・持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）への取組
○探究的な学習
・課題解決学習
・タブレットＰＣの活用
・各教科との横断

特別活動の指導の重点

○学級活動
・合意形成、意思決定の力の育成
・キャリア教育の要としての視点
・課題解決の中で行う社会参画
○生徒会活動
・異年齢集団での活動の充実
・人間関係形成の機会創出
○学校行事
・集団への所属感と連帯感の育成
・企画立案を行うことによる自己実現

進路指導・キャリア教育の重点

○主体的な進路選択
・学年の実態に応じた指導
・自己理解の深化
・ガイダンス活動の充実
・キャリア・パスポートの活用

○望ましい勤労観
・地域人材の活用
・体験的な学習の重視
・各教科領域との連携

生活指導の重点

○教育相談
・生徒理解
・相談体制の充実
・きめ細かな指導

○健全育成
・地域への帰属意識
・信頼関係の確立
・早期対応の体制

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育
・基礎・基本の徹底	・授業時数確保	・学習指導要領の趣旨理解	・観点別評価の改善	・面談の充実	・出前授業
・習熟度別少人数授業	・行事の精選と充実	・指導法の工夫	・自己評価の工夫	・地域人材の活用	・部活動体験
・学ぶ意欲の喚起	・小中の連携	・外部講師の活用	・定期考査結果個票	・関係者評価の充実	・校区別協議会での相互授業参観
・対話的・体験的学習	・学校2020レガシー教育の推進	・校内研究の見直し	・学習評価の蓄積	・学校評議員会	・目指す１５歳の姿の具現化に向けた取組
・主体的な学びを促す授業	・学力向上支援講師の活用	・教員相互の授業参観	・学習の記録の提示	・学校公開日	
・学力補充教室	・授業の１単位時間の弾力的運用	・特別支援教育の理解	・形成的評価の推進	・保護者会	
		・特別活動の研究と実践			

授業改善の検証方法

各種学力調査データ、学校評価、生徒授業評価等を基に、教科部会、校内研修で改善プランを検証する。